

アレルギー緊急時対応マニュアルの活用方法

<はじめに>

アレルギーを持つ子どもは増えています。

学校や園で、どんなに気を付けていてもトラブルは起こり得ます。さらに、アレルギーが無いと思っている子どもでも、学校や園で初めてアレルギーを起こす事も珍しくありません。

そのような時。誰もが慌てず冷静に対応できるよう、H26年マニュアルを作成しこの度、よりわかりやすいマニュアルをと、改訂に取り組みました。

マニュアルは新旧どちらを使っても問題ありません。施設ごとにみなさんの手で完成させ、是非ご活用ください。

<資料の内容>

1. アレルギー緊急時対応マニュアルの活用方法 (A3 両面印刷)

付：食物アレルギー保護者への説明文／食物経口負荷試験実施医療機関 (2015 年調査)

2. アレルギー緊急時対応マニュアル (A3 両面印刷)

3. 個別対応シート・症状チェックシート (A3 片面印刷)

<スムーズに活用できるよう、QRコードを用意しました> 勉強会等にご活用ください



エピペンの使い方：これを見たら全てがわかる！（26分）



アレルギー緊急時対応マニュアルの使い方（14分）



アレルギー症状ストーリーと対応：小学校（13分）



アレルギー症状ストーリーと対応：保育所（11分）



エピペンの使い方：実写で簡単に説明（1分）

保育所・学校 における投薬について

「保育所におけるアレルギー対応ガイドラインQ&A」「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」には、子どもに代わってエピペンを使用することが医師法違反に当たらないこと、並びに医師の指示に基づいた薬は与えることができること・使用を含めた対応を考えることが記載されています。

保育所で、すべての子どもの薬を預かる事は管理上困難ですが、本当に必要な子どもに対しては積極的に検討して頂きたいと思えます。

付) 食物アレルギーを持つ子どもさんの保護者の方へ

食物アレルギーを持つ子どもさんの保護者の方へ
香川県小児科医学会食物アレルギー対策委員会

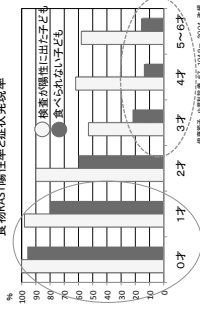


食物アレルギーを持つ子どもは増えています。



子どもが大きくなると血液検査で反応が出ていても食べられる事が多くなり、実際に食べてみる検査（食物経口負荷試験）が必要になります。

アトピー性皮膚炎発症における年齢別食物IgE陽性率と臨床経過



食物負荷試験は以下の事を知るために行われます。

- ①食物アレルギーの正しい診断のため
- ②食べられるようになった事の確認
- ③間違えて食べた時の危険性の評価
- ④安全に食べられる量を決めるため

この検査にはリスクが伴うため、どの医療施設でもできるわけではありません。

私たちは負荷試験の紹介を受ける事ができる医療施設を把握し、公開しています。

食べられない状態が続く場合は、かかりつけ医と相談の上、必要であれば紹介を受けてください。（負荷試験をするかどうかは受診後の判断となります）

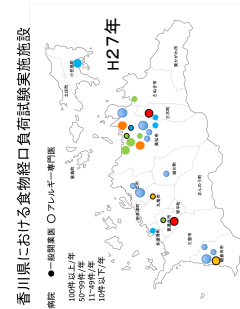
私たちは一人でも多くの子どもが不要な制限をすること無く
安全に楽しく食べることができるよう
アレルギーで命の危険にさらされる子どもが一人でも減るよう
願い活動しています

付) 食物経口負荷試験実施医療機関(2015調査)

食物経口負荷試験実施医療機関 (2015 調査) 香川県小児科医学会食物アレルギー対策委員会

* 香川県内で負荷試験実施施設の情報が必要という声を受け作成しました *

A. 香川県内食物経口負荷試験実施施設：27 施設／下図参照／施設名非公開



B. 食物経口負荷試験実施医療機関のうち他院より紹介受け入れ可能施設

おおた小児科アレルギー科クリニック

香川県立中央病院 小児科

香川大学医学部 小児科

坂田市民病院 小児科

高松赤十字病院 小児科

高松平和病院 小児科

四国こどもとおとなの医療センター 小児アレルギー科

小豆島中央病院 小児科

陶南院 小児科

松井病院 小児科

三豊総合病院 小児科

本坂小児科医院

C. 皆様が保護者より負荷試験を受けたいと相談を受けた場合の対応：お願い

食物アレルギーを持つ子どもさんの保護者より負荷試験の相談を受けた場合、Bの施設を直接

受診するのではなく、まずかかりつけ医療施設へ相談する事をお勧めください。

Aの地図上に印のない施設でも負荷試験を行っている場合があります。ただし、紹介

考えられます。相談の結果、必要があると判断されてはじめて紹介となります。

された全員が負荷試験を受けられるわけではなく、いろいろな条件が整いはじめて負荷試験の

実施となります。

＜使い方：アレルギー緊急時対応マニュアルの完成方法＞

マニュアル表：アレルギー緊急時対応／緊急時の役割分担／安静を保つ体位

緊急時の役割分担を各施設に合わせ検討し適切に変更し、職員全員に周知確認します。

マニュアル裏：エピペンの使用手順／救急車要請で伝えること／心肺蘇生 AED の手順
救急車要請欄に施設名、電話番号、住所を事前に記入します。

④ 救急車の要請 (119番通報)

個別対応シートを
見ながら伝える

「アナフィラキシーでの救急要請です！」

☐ 施設名、電話番号、住所 ※事前に記入しておく

施設名	楽しい子どもの施設
電話番号	012-3456-78×9
住所	○×△市 ○×町 119番地

☐ 子どもの名前、性別、年齢

☐ 現在の状況（原因がわかれば伝える）

☐ エピペンの有無、使用したかしていないか

☐ 私（通報者）の名前、携帯電話番号※

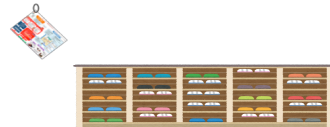
※その後も救急隊とすぐ連絡が取れるようにしておく



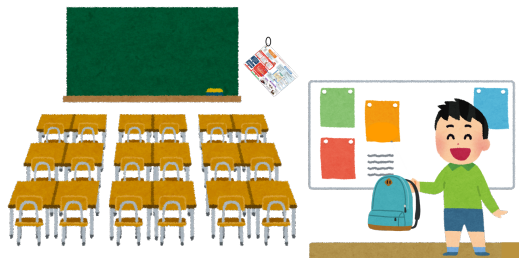
連絡係

上記記入後、マニュアル表裏を A3 用紙にカラー印刷し、両表に合わせラミネートします。施設内の全ての部屋に配置。誰もが一目見て分かる場所に置きます。（例：シート角に穴を開けリングを通し、教室の黒板横等にフックを付け吊るすことをお勧めします。）印刷の用紙は誰もが一目で読む事ができる A3 とします。

例) 保育所の場合(使用推奨例)↓



例) 学校の場合(使用推奨例)↓



＜使い方：個別対応シート／症状チェックシート＞

個別対応シート：学校生活管理指導表や除去食確認シートが提出された場合に作成

します。その子どもが所属するクラス・職員室・保健室等で子どもがいたずらしない所で誰もが認識できる場所に置いておきます。管理指導表が更新された時や学年・クラス・担任が変わる時もシートの作り直しが必要です。

（保育所等で使用の除去食確認シートはこのアドレスでご確認ください。

<https://kagawa-colorful.com/hoikusyo-info/>)

個別対応シート

学校生活管理指導表（除去食確認シート等）が提出・更新されたら作成しておしよ。
薬を持っていないでも作成しましょう

作成日: 29 年 4 月 11 日		作成者名: 施設長・主任・担任	
年 ☆ 組 子どもの名前: 香川 環君		担任の名前: 優しい先生	
除去している食物: 牛乳・乳製品			
施設名: 楽しい子どもの施設		消防署との情報共有: あり(伊東)・なし	
住所: ○×△市 ○×町 119番地		最寄の消防署:	
Tel: 012-3456-78×9		救急車到着までの時間※: 約(5)分	
※もし救急車を要請した場合、どのくらいの間隔がかるのかを最寄の消防署に聞いておきましょう。			
エピペン (0.15mg 緑色) 0.3mg 黄色)		保管場所: 本人のカバンの中	
薬の種類		薬の名前	1回使用量
抗ヒスタミン薬	あり・なし	ヨクククスリ	1袋
ステロイド	あり・なし		
気管支拡張薬(内服)	あり・なし		
気管支拡張薬(吸入)	あり・なし		
※1回使用量は5mg1錠、2.5mg1錠など記載しましょう。吸入薬は1回1吸入などと記載しましょう。			
緊急連絡先	保護者	① 氏名: 012-345-6×89 香川 太郎	(自宅・自宅・職場) (勤務先)
	病院	① Tel: 0123-56-7×89 病院名: K病院 小児科 子どもの患者ID番号	(病院代表) (小児科受付) 主治医名

※保護者に確認し記載しておけば施設から連絡する際に役立ちます。搬送先は最寄りの救急病院です。

（個別対応シート記載の緊急連絡先病院はかかりつけ医を記入してください。）

症状チェックシート：アレルギー症状を5分毎にチェックし、記載します。

症状のチェック欄の下には対応を記載しており、症状に合わせた対応を示しています。いざという時に迷わないように薬の名前をシート下の欄にあらかじめ記入しておきましょう。薬を持っていない時の対応は薬以外の対応をしましょう。

個別対応シートが作成されていない子どもでも、アレルギー症状をきたす事があります。そのため、個別対応シートに記入の無いものも、全ての部屋に準備する必要があります。

子どもの命を守るための準備です。食物アレルギーの子どもが所属しない施設も、施設での新規発症に備え、ご準備よろしくお祈いします。

香川県小児科医会食物アレルギー対策委員会

・勉強会にエピペントレーナーを人数分貸して欲しい ・施設にエピペントレーナーが無いので練習用に持っておきたい ・医師による勉強会を開きたい 等、是非ご相談ください。

香川県小児科医会食物アレルギー対策委員会委員長: 空保(もくぼ)小児科医院: 平場 0877-98-2010 kahiraba@yahoo.co.jp